

## 私たちの現状や取り組み

### 【事業の目的】

- ・ **発達障害のある方の個性や多様性を理解し支える社会づくり**  
企業や大学と共に、新しい発想や強みを活かし、発達障害への理解を広げる



【学習障害に関するワークショップ】

【ブルーライトアップ】

### 【事業の内容】

- ・ **企業・大学・団体と連携した啓発プロジェクト**  
4月2日の世界自閉症啓発デーをきっかけに、市内各地で様々な企画を展開  
(中部電力MIRAI TOWERのブルーライトアップ など)
- ・ **「知るきっかけ」をつくる情報発信**  
多様性の理解のための切り口として、アールブリュットデザインを使用
- ・ **「理解につなげる」学びの機会づくり**  
発達障害への理解を深めるため、展示、イベント、セミナー等を実施



【アールブリュット作品】

【アールブリュット作品】

**プロジェクト2026では、  
68を超える企業・団体・  
大学等が参画！**  
(レゴランド®・ジャパン、  
栄4丁目5丁目の会、イオン、  
星が丘テラス、愛知学院大学など)

## 困っている事

**「関心」から「理解して行動してもらう」へのステップができていない。**

- ・ アールブリュット作品への関心が、  
発達障害の理解までつながっていない…

【理想】 作品への関心をきっかけに、発達障害や多様性への理解が深まる

- ・ 発達障害への関心が、理解や行動の変化につながっていない…

【理想】 発達障害について知った人が、日常生活の中で理解や配慮を実践している

- ・ 興味を持つきっかけはあっても、学べる機会が少ない…

【理想】 「知る → 理解する → 行動する」へ、つながる仕組みができている

- ・ 企業にとってのCSR以外の参加価値もさらに高めたい…

【理想】 業種や規模を問わず多様な主体が参画し、  
企業価値向上にもつながるプロジェクトになっている

## 目指す姿

# 発達障害に対する理解が広がり、 多様な個性を認め合う社会の実現

- 発達障害に関する正しい理解が社会全体に浸透し、身近なものとして自然に受け止められている
- 一人ひとりの個性や特性、価値観の違いが尊重され、それぞれの強みを活かせる風土が醸成されている
- 学校や職場で必要な配慮が自然に行われている
- 企業・大学・地域が共に理解促進に取り組んでいる

**発達障害の理解促進は、  
多様性を認め合う社会づくりの入口です**



## 提案してほしいこと

## ・ 発達障害への関心を広げる仕組み

【例】 SNS、動画、デジタルコンテンツ、話題化施策など



【SNS デジタルコンテンツ】

## ・ 発達障害への理解を深める仕組み

【例】 体験イベント、ワークショップ、クイズ、ゲーム化など



【大学講義】

## ・ 学校・職場・店舗等で行動につなげる仕組み

【例】 社員研修、学生向け講座、社内啓発、来店者向けキャンペーンなど



【体験イベント】

## ・ 企業・大学・団体が継続的に参加したくなる仕組み

【例】 協賛商品やコラボ企画の創出、取組事例の共有、共創プロジェクトなど



【書店 啓発書物コーナー】

## 提供できるリソース

これまでも、多くの企業や団体に  
協賛・協力いただき、取組の輪を  
広げてきたプロジェクトです。

- ・ 既存の協賛・協力企業や大学をご紹介

本事業に参画いただいた企業・大学・団体を紹介し、共創のきっかけを提供

協賛・協力企業や  
大学をプロジェクト  
2026公式サイトで  
紹介しています



<https://autismawareness.nagoya.city.nagoya.jp/>

- ・ 市内各地の発信フィールドの提供

商業施設、大学、イベント会場など、情報発信の場を活用可能

- ・ 発達障害啓発プロジェクトのロゴ・コンテンツを活用可能

アールブリュット作品や既存広報素材の活用に向けた調整が可能

- ・ 名古屋市による広報発信力

公式ウェブサイト、広報媒体、イベント等を活用した情報発信が可能

## 名古屋市と共創するメリット

## メリット①

社会課題解決と企業価値向上を両立できる

- ・ 発達障害への理解促進という社会課題の解決に貢献できる
- ・ CSR・SDGs・地域貢献活動を社内外に発信できる
- ・ ダイバーシティ推進に取り組む企業として企業価値向上につながる

## メリット②

ダイバーシティを推進できる

- ・ 社員の発達障害への理解促進につながる
- ・ 障害の有無に関わらず働きやすい職場づくりに活かせる
- ・ 接客やサービスにおける合理的配慮（必要な配慮）のヒントを得られる
- ・ 多様な個性を尊重する企業文化の醸成につながる

## メリット③

地域とともに社会課題解決に取り組める

- ・ 発達障害への理解促進という社会的意義の高い取組に参画できる
- ・ 行政だけでは解決が難しい課題に企業の強みを活かせる
- ・ 地域に根差した企業としての価値向上につながる

【まとめ】

# 知る。理解する。認め合う。

【目指す姿】

発達障害に対する理解が広がり、多様な個性を認め合う社会の実現

【困っている事】

- ①「関心を持ってもらう」から「理解して行動する」につながっていない
- ② 企業にとっての参加価値もさらに高めたい

【提案してほしいこと】

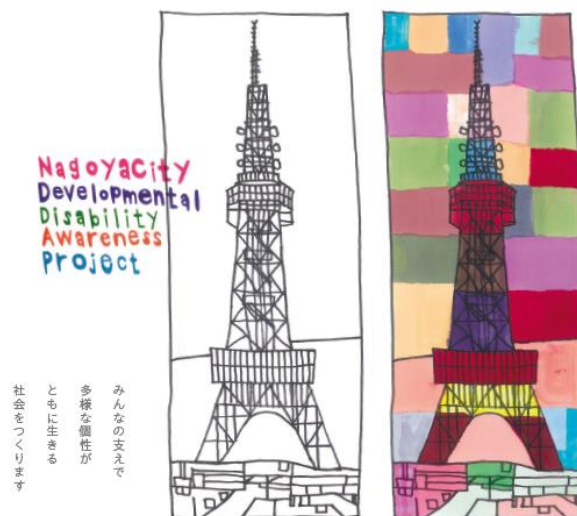
- ① 発達障害に関する関心・理解・具体的配慮が、さらに広がる仕組み
- ② 企業・大学・団体が継続的に参加したくなる仕組み・アイデア

発達障害への理解を、みんなの力で広げましょう

## 【補足資料・参考資料】

本プロジェクトの具体的な取組、協賛企業や企画情報等は  
公式ウェブサイトにて公開しています。ご参考ください。

名古屋市  
発達障害啓発  
プロジェクト  
2026



名古屋市発達障害啓発プロジェクト2026  
公式ウェブサイト



<https://autismawareness.nagoya.city.nagoya.jp/>